

ハローキャリアワーク通信



松陰会館におけるハローキャリアワークの2回目が7月6日（土曜日）に行われました。今回は、前回の「松陰神社前のまちはこんなまち」のまとめを振り返り、導入は「〇〇にとって、まちが△△になったら」を考えることから始まりました。振り返りの時には、前回まとめた模造紙を広げて、見つめなおしました。1回目は3つの班でしたが、今回は2つの班に分け直してワ

ークをしました。それぞれの班で、振り返った後に「〇〇にとって、まちが△△になったら」ちょー楽しい！という題を佐藤社長から投げかけられました。子どもたちは、松陰会館の社員という意識を忘れかけているようで、難しそうな顔をしていました。

そこで、アイスブレイクとして「絵描きしりとり」を行うと佐藤社長が伝えると、子どもたちの顔が和みまし



た。お題は「リンゴ」で、その「ゴ」から始まるモノを絵で表していくのです。各班とも「ゴリラ」で続き、時間内に9個の絵につなげていく班と8個の班となり、勝敗が決まりました。負けた班から「もう1度」と声がかかり、再度「猫」の絵から始まり、今度は、12個も続け、最初に負けた班が勝ちました。これで、子どもたちの気分が変わり、「〇〇にとって、まちが△△になったら」の考えを出し始めました。1つの班は再度、松陰神社前



のまちを探索に出かけ、考えを深めたようです。もう1つの班は、部屋に残って考えました。佐藤社長からは「楽しい未来を考える」という視点も示され、まとめにかかりました。そして、さらに「〇〇が△△になったら」などの視点も示され、最後の視点として「今から松陰会館はなにをしたらいい」という視点も示され、そのためにできることも考え始めました。

いよいよ発表になりました。最初の班は、インタビュー方式を取り入れ、一人一人がまとめたことを司会の役割の子が聞きました。「犬が好きなので犬がたくさん居るまち」「大きな公園があるまち」「みんなが来てくれるように、いい匂



いがするまち」「みんなが安心、安全に暮らせるまち」そのために、「一人ではできないから、仲間になって知ってもらいたい」と発表しました。次の班からは、代表の子が「緑の多いまち」緑が多くなると涼しくなる。また、道が狭いので、広くしたい。など防災の意識がうかがえる考えも出ました。この2つの発表で今回は終了です。次回は、7月20日（土曜日）教育総合センターで、まとめと発表を行います。

